

## 進捗状況の概要

平成 26 年度「大学教育再生加速プログラム」に採択された本学の取組は、「グローバル人材育成」という教育目標を共有する高等学校との連携に特化する形で、「日英中トライリンガル育成のための高大接続」を目指し、教育内容・教育方法・教育成果等の発展的連携を推進するものである。「大学による高等学校への学修機会の提供」に加え、「大学生（留学生を含む）による高校生への学修機会の提供」（ピアサポート）も実施し、留学の早期化・長期化・複数化への意識を積極的に醸成する。本学の教育・研究機能の三鷹市集約（平成 28 年度、井の頭キャンパス開設）により飛躍的進展が見込まれるグローバル人材育成取組校との高大接続を通して、本学が取組むグローバル人材育成推進事業との複合的連携を図りながら、社会の要請に応えるグローバル人材育成を強力に加速させていくことが本事業の目的である。

本事業採択後 2 年目となる平成 27 年度は、ライティングセンターの本格的稼働を通じて学生の留学準備の補助機能を強化するとともに、各種学内イベントの高校生への開放や大学全体への事業の波及、それによる各学部教員と高等学校との連携機会の増加を通じて、大学の教育資源をさらに広範囲にわたって高校生に提供した。また、「杏林 AP ラウンドテーブル」の継続的開催を通じ、本事業の活動に対する高等学校側からのフィードバックを得る機会を設け、教育効果の向上のための意見交換を定期的実施した。学内では第三者評価委員会を開催することで、事業の目的・計画の妥当性や事業の進捗・達成状況の点検・評価を行い、課題を客観的な視点から分析し、各種事業の計画・実効性の改善を目指した。高校生と大学生が共に学修する場を提供する「IELTS 対策講座」や「日英中トライリンガルキャンプ」も前年度より継続して実施し、目的を共有する者が集う場での集中特訓や能動的学修を通じて、高大の参加者に対し留学に向けた強い意識の醸成を促した。定期開催の「杏林 AP ラウンドテーブル」に加え、アドバンスト・プレイスメントについて集中的に議論する「アドバンスト・プレイスメント・ラウンドテーブル」を開催し、文部科学省大学振興課職員、近隣の大学や高等学校の担当教職員を招いて具体的な可能性や課題について検討し、平成 28 年度中にはアドバンスト・プレイスメントに係る学則・履修規程等を整備し、平成 29 年度から制度を導入することとした。平成 27 年度の具体的事業内容の進捗状況は下記の通りである。

- ①ライティングセンターの本格稼働を開始し、留学に向けたサポート体制を強化した。
- ②特設サイトの運営・更新による事業公開を推進し、学内外への事業の周知を図った。
- ③事業実施に係る学内体制として「大学教育再生加速プログラム推進委員会」と「第 3 次中期計画実行委員会（高大連携推進実行部会）」との連動を開始し、他学部への事業拡大の基盤を整備した。
- ④SGH 指定校・グローバル人材育成取組校（聖徳学園高等学校、順天高等学校、都立青梅総合高等学校、関東国際高等学校、県立神奈川総合高等学校、大成高等学校、日出学園高等学校、都立武蔵村山高等学校、都立三鷹中等教育学校の計 9 校）から教員が参加した「杏林 AP ラウンドテーブル」を年度内 3 回開催し、高大連携・接続協議を実施した。
- ⑤本事業実施に係る「教務的制度の構築」（ライティングセンターと授業の連動、高校生対象大学教養レベルグローバル関連科目設置と実施に向けた学則・履修規程措置、時間割編成、新規科目設置、グローバル関連科目の土曜日開講ならびに夏季・春季休暇集中科目化、アドバンスト・プレイスメントのための学則・履修規程制定等）に着手した。あわせて、教育成果測定に活用する「グローバルルーブリック」「グローバルポートフォリオ」の試験運用・フィードバックを経て開発している。
- ⑥文部科学省大学振興課専門職河本達毅氏、近隣の大学（亜細亜大学、成蹊大学、東京外国語大学、東京女子大学、杏林大学）関係教職員、高校（聖徳学園高校、大成高校、関東国際高校、三鷹中等教育学校）関係教員が出席し、「アドバンスト・プレイスメント・ラウンドテーブル」を開催した。
- ⑦関東国際高等学校と高大連携協定を新規に締結した。
- ⑧年次事業報告書（平成 26 年度分）の作成・印刷・送付を行い、事業の成果を広く公表すると共に、「大学教育再生加速プログラム（AP）推進委員会」にて自己点検を行い、第三者評価委員会による点検・評価を受審し、平成 28 年度以降の計画改善を行った。
- ⑨大学生による高校生への学修機会提供として、特任講師、大学生ピアチューターが参加するライティングセンター主催ライティングセミナーを開催した。
- ⑩英語キャンプ・中国語キャンプ・日英中トライリンガルキャンプの実施を通して、高校生へ学修機会を提供した。
- ⑪杏林大学八王子キャンパスにて「第 2 回 高校と大学をつなぐ FD/SD」を開催した。神奈川県立神奈川総合高等学校の菅原喜一教諭と関東国際高等学校の黒澤真爾副校長の講演後、活発な質疑応答・議論が行われた。
- ⑫平成 28 年度に実施するライティングセミナー、教養グローバル関連科目、英語／中国語／日英中トライリンガルキャンプの案内リーフレットの制作・送付を行い、事業の社会的周知を行った。
- ⑬井の頭新キャンパス移転に伴い、ライティングセンター全設備を移設した。